

感染症週報〔市内週報 平成24年第27週〕

結核・感染症発生動向調査

平成24年7月10日

平成24年第27週感染症発生状況【川崎市内】

平成24年7月2日～7月8日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届出	累計(平成24年第1週以降)
<p>第27週で患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) ヘルパンギーナ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。</p> <p>感染性胃腸炎は定点当たり7.94人と前週(8.24)より患者報告数は減少し、平成11年のデータ収集開始以来、過去同時期と比較して最多の報告が第21週以降7週連続で続いています。</p> <p>ヘルパンギーナは定点当たり3.42人と前週(1.45)より患者報告数が増加し、区別では特に宮前区で報告数が多く、定点当たり7.20人となっており、流行発生警報基準値(定点当たり6.0人)を超えています。</p> <p>全数把握疾患については、アメーバ赤痢3件、風しん5件の届出がありました。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 2件	結核 213件
	3類感染症	なし	細菌性赤痢 1件、腸チフス 2件 腸管出血性大腸菌感染症 3件
	4類感染症	なし	E型肝炎 1件、デング熱 2件 マラリア 1件、レジオネラ症 4件
	5類感染症	アメーバ赤痢 3件 風しん 5件	アメーバ赤痢 9件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 後天性免疫不全症候群 5件、梅毒 6件 破傷風 1件、風しん 12件、麻しん 1件



